

2016 年度米国研修

フランク・ロイド・ライト (FLW) プラス視察ツアー募集要項

一般社団法人 輸入住宅産業協会

研修の趣旨

輸入住宅業界の皆さま、特に若手設計、或いは営業の方々に一度「輸入住宅の根底に流れる設計の規則性・創造性」に触れていただき、海外の住環境への洞察を少しばかり深めていただく機会として、近代住宅建築・デザインに大きな影響をもたらしたフランク・ロイド・ライト (FLW) にフォーカスした視察ツアーを企画しました。

まずは成田空港から建築のメッカ、シカゴへ飛び、シカゴのアーキテクチャーウォーク、近辺のオークパークで半日 FLW の足跡を追い、その後は近代建築の象徴とも言えるシカゴの摩天楼を説明員付きリパークルーズで楽しむ企画も組み込みました。40 近くの建築物を淀みなく説明してもらいながらのクルーズは一見の価値があります。

次にこのツアーのメインとも言える FLW の代表作「落水荘＝フォーリングウォーターハウス」とその周辺に散在する建築物をゆっくり見て回る日程を組みました。ミルラン地域は多くの日本人が訪問する観光拠点から大分離れたところですので、なかなか見れません。目的を持って FLW の世界と自然との調和を感じていただきます。

そして最終日は、ニューヨークでフリータイム。建築・設計の世界を楽しむもよし、買物、エンターテインメントで過ごすもよし、アメリカを体感していただきます。

この視察・研修ツアーをできる限りコストを抑えた形で実現するために、通常のパッケージツアーとは異なる部分も出てきますが、DIY 要素を色々と組み込んだ旅程、と前向きに捉えていただき、充実した時間を過ごしていただけるようアレンジいたしました。

従いまして、一流の4つ星ホテルに一人部屋で、或いは荷物の移動は全て業者に任せて、とはいきませんが、研修の趣旨をご理解の上、ご参加をご案内いたします。

研修概要

時期： 2016 年 6 月 7 日 (火) ～ 6 月 13 日 (月)

研修費： IHIO (IBMF) 会員企業の方：お一人 ¥275,000.

非会員価格設定 ¥300,000.-

訪問先： シカゴの有名建築、オークパークのフランク・ロイド・ライトの住宅・スタジオ、ミルランの FLW 代表作「落水荘」と周辺施設、ニューヨーク

定員： 最小催行人員は 10 名。(定員未満の場合は料金変更を含む催行へ向けての再提案)

参加申込み締切日：2016 年 2 月 29 日 (月)

※ミルランの FLW デザインの住宅での宿泊は収納可能人数 (18Max) の都合により早い時期での予約が必須です。仮予約は申請いたしましたが、お申込みのタイミングでご期待に添えない場合もありますので、ご了承ください。

2016 年度米国研修

主催：一般社団法人(IHIO)輸入住宅産業協会・品質向上委員会 / 企画：G.K.&アソシエイツ

○ フランク・ロイド・ライト(FLW) プラス視察ツアー旅程（予定）

旅行代金 IHIO会員様：¥275,000 / 非会員様：¥300,000						
日次	月日/曜日	都市名（発/着）	時間	交通	摘 要	食事
1	平成28年 6月7日 (火)	成田発 シカゴ着	夕 刻 午 後	航空機	15時00分成田空港集合 航空便にてシカゴへ 入国管理・ 通関を経て メトロブルーライン にて市内ホテルへ シカゴ泊	夕：機内○ 昼：機内○ 夕：IHIO○
2	6月8日 (水)	シカゴ	A M P M 夕刻	メトロ ウ ォ ー ク	オークパーク(FLW)ホーム訪問 シカゴアーキテクチャー ウォーキングツアー 各自シカゴの 建築名所散策 シカゴ泊	朝：各自 昼：各自 夕：各自
3	6月9日 (木)	シカゴ発 ピッツバーグ経由 ミルラン着	A M P M	航空機 専用車	午前中航空便にてピッツバーグへ (1H15m) 空港からミルランへ (2H) ミルラン近辺泊	朝：各自 昼：各自 夕：各自
4	6月10日 (金)	ミルラン ピッツバーグ着	A M P M	専用車	FLWフォーリングウォーターハウス 並びにケンタック・ノブ見学 ピッツバーグ移動 ピッツバーグ泊	朝：各自 昼：各自 夕：各自
5	6月11日 (土)	ピッツバーグ発 ニューヨーク着	A M	航空機	午前中の航空便にてニューヨーク へ ニューヨーク近辺泊	朝：各自 昼：各自 夕：市内○
6	6月12日 (日)	ニューヨーク発	10:35	航空機	航空便にて成田へ 機内泊	朝：各自 昼：各自 夕：機内○
7	6月13日 (月)	東京 成田着	16:30		東京・成田空港着、 入国・通関後 到着ロビーにて解散	昼：機内○

※ 旅行代金に含まれるもの： 航空運賃-日程表に記載された期間のエコノミークラス団体運賃・燃料サーチャージ、宿泊料金、専用車-ピッツバーグから落水荘視察旅程。

※ 表記時間は全て現地時間帯です。交通機関、等、変更になる場合があります。

※ 今回の視察ツアーは一般の観光向けホテル、或いはアメリカB&B(ベッド&ブレックファスト)協会所属の宿を選びます。参加人数などにより宿泊可能な施設を選択しますので、最終的には申込み締切り後のご案内となります。

※ 宿泊料金は二人一部屋を基本としておりますので、一人部屋をご希望の際は追加料金となります。

※ 利用予定航空会社：スターアライアンス、ワンワールド、又はスカイチームの航空会社を予定しています。

2016 年度米国研修

※ 参加者が10名未満の場合は料金変更、或いはキャンセルとなる可能性もあります。

※ 参加申し込み締め切りは2月29日(月)です。

[企 画] C.K.&アソシエツ (担当: 菊池クリス 携帯: 090-8476-9749)

[取扱旅行会社] 株式会社新生旅行 (担当: 大嶽 眞一氏)

〒105-0004 東京都港区新橋6-2-1 TEL: 03-3438-2508 / FAX: 03-3438-2560



フランク・ロイド・ライト(FLW) プラス視察ツアー

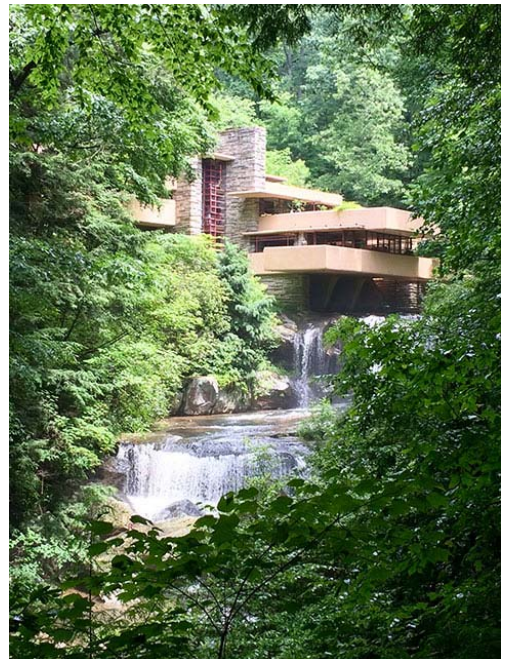
(2016年6月7日—6月13日)

訪問先情報

1. フォーリングウォーターハウス (ミル・ラン、ペンシルヴァニア州)

近代建築の3代巨匠の一人、フランク・ロイド・ライト。FLW が日本で設計した旧帝國ホテルは、現在エントランス部分のみ愛知県犬山市の明治村に移築されていることを皆さんご存知だと思います。そのライトの最も有名な個人邸建築が「落水荘 FALLING WATER」。この落水荘は、1935年にピッツバーグ最大のデパートオーナーであったエドガー・カウフマンの依頼でライトが設計した邸宅です。この場所は元々カウフマン家が所有していた自然豊かな山林で、ここにある美しい滝は一家のお気に入りだったとのこと。そこで「この滝を眺められる家を」とライトに依頼をしたカウフマンでしたが、ライトはこの美しい滝をフォーカルポイントとした、滝と融合させた家を建てることを計画。また、壁材に使う石にはこの山で採石された砂石を使い、コンクリート部分の色は、夏になるとこの山に咲くシャクナゲのアイボリーカラーを使う等、「自然を鑑賞する為の家」ではなく「自然と共存する家」をカウフマンに提案したそうです。「自然との共存」というこの家のテーマを具現化する為の手法として大きく3つ挙げられるのが、コントラスト、カンティレバー、カスケードの3つで、家具やインテリアの細部に至るまで、この家の至る所に散りばめられています。カンティレバー(片持ち梁)とは建物の中心部分に片側のみが固定され、小川の上に大きく突き出たテラスがその特徴で、リビングルーム、ベッドルーム、ゲストベッドルームの、各部屋に備えられています。カンティレバー式で余計な支柱が無い事で、どの部屋からも邪魔な柱無く、開放的な景色を望むことが出来ます。この落水荘は1963年まではカウフマンファミリーの別荘として使われていましたが、現在は一般公開されており予約制のガイドツアーでのみ内部の見学が可能です。

<http://www.fallingwater.org>



2016 年度米国研修

2. Duncan House, Blum House and/or Balter House

ライトの日本にも通じるその建築スタイルの真価を堪能するのに一番な機会は、そう、そこに住むことでしょう。このツアーでは1泊だけそれを実現すべく、12人分の宿泊の仮申し込みをしました。現段階では何人泊まれることになるかは未定ですが、宿泊ができない場合でもフォーリングウォーターハウス近くのポリマスパークにある、ライトのデザインによる邸宅を訪問し、思う存分触れてみましょう。それぞれ特徴のあるダンカンハウス、ブルムハウス、そしてバルターハウスは一棟に6名まで宿泊可能ですが、仮申し込みを、有効な予約につなげるには実名での早い申し込みが必要です。ご関心ある方々、できるだけ早めの申し込みをお願いします。このツアーへのお申し込みいただいた方から順に、実名での申し込み切り替えとさせていただきます。

<http://www.franklloydwrightovernight.net>

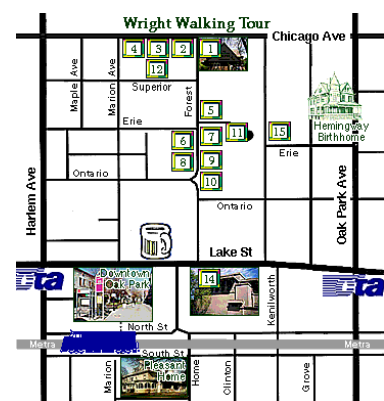
3. オークパーク FLW ホーム&スタジオ (オークパーク、イリノイ州)



オークパークはライトが1889年から1909年まで居住した村で、ライトの設計による住宅が25棟建つ場所です。この村に滞在中にライトのトレードマークであるインテリアの空間と照明を平屋(或いは低層)住宅に展開する「プレイリースタイル」を完成させ、20世紀の建築を大きく変換しました。この地域に存在するライトはアメリカの歴史的ランドマークとして登録されています。ここではFLWの自宅兼スタジオのガイドツアー(約30分)を皮切りに、お好きなライトの設計による建築物を回ってもらいます。

ライトウォーキングツアーは951 Chicago Ave.にあるライトの自宅兼スタジオから始まり、全部回ればこの村に15棟見ることのできる住宅が建っています。これらを見て回るにより、ライトの設計スタイルの変化を目の当たりに体験することができる興味深いツアーです。

<http://www.flwright.org/tours>



2016 年度米国研修

4. Chicago Architecture Boat Tour by Night

シカゴ建築ナイトボートツアー(シカゴ、イリノイ州)



フランク・ロイド・ライトのプレイリースタイルの後は、シカゴの摩天楼をボートから見るツアーは建築に関わる人間には見逃せないチャンス。75分のボートツアーでシカゴの有名な建築物、シアーズタワー(現在はウィリスタワー)、リグリービルディング、ジョン・ハンコック・センタービル、等々、40以上の建築物をシカゴの建築史からの情報豊富なガイドの説明を聞きながら回ります。夜のツアーはこれらの建築物がライト

アップされ、昼とはまた違う表情で街の魅力を演出します。(日本語ガイド交渉中) 下船したら、シカゴといえばそう、ピザ、そしてジャズを楽しみながら建築を語りましょう。

<http://www.viator.com/Chicago-tours/Night-Cruises/d673-g3-c9>

そしてツアーの締めくくりはニューヨーク(ニューアーク)へ移動しての終日視察と、IHIO主催のディナー。ご当地の名物料理をご堪能あれ!

メモ

